

令和5年度 北海道旭川南高等学校 シラバス

教科名	科目名	年次	単位	年間予定時間	担当
芸術Ⅰ	書道Ⅰ	1	2	70	齋藤 肇

年間指導計画

前期中間 時数	前期期末 時数	後期中間 時数	後期期末 時数
14	20	18	18

授業の目標

1. 小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させ、芸術としての書道の美しさを感じ取る。
1. 書道の幅広い活動をとおして、書を愛好する姿勢を身につける。
2. 感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。

学習方法

1. 作品制作
2. 作品鑑賞
3. 知識理解

教科書・教材

1. 教科書「新編 書道Ⅰ」（教育出版）
2. 中筆、小筆、紙、墨など

評価の観点・規準・方法

評価の観点	評価規準（到達目標）	割合	評価の方法
ア：知識・技能	様々な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付ける。	40%	作品制作
イ：思考・判断・表現	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせ自らの意図に基づいて、構想し表現を工夫している。	30%	作品制作
			プリント
ウ：主体的に学習に取り組む態度	書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に制作や鑑賞等の創造的活動に取り組もうとする。	30%	プリント
			授業中の取り組み

その他・備考